

平成23年度 第8回

しあわせ倍増プラン2009市民評価委員会 次第

平成23年9月14日（水）19:00～21:00

浦和コミュニティセンター 第15集会室

1 開 会

2 議 題

- (1) 「しあわせ倍増プラン2009」取組実績及び達成度等の評価について（*評価対象事業：5事業）
- (2) 評価報告書の取りまとめ及び「市民評価報告会」の開催等について

3 その他

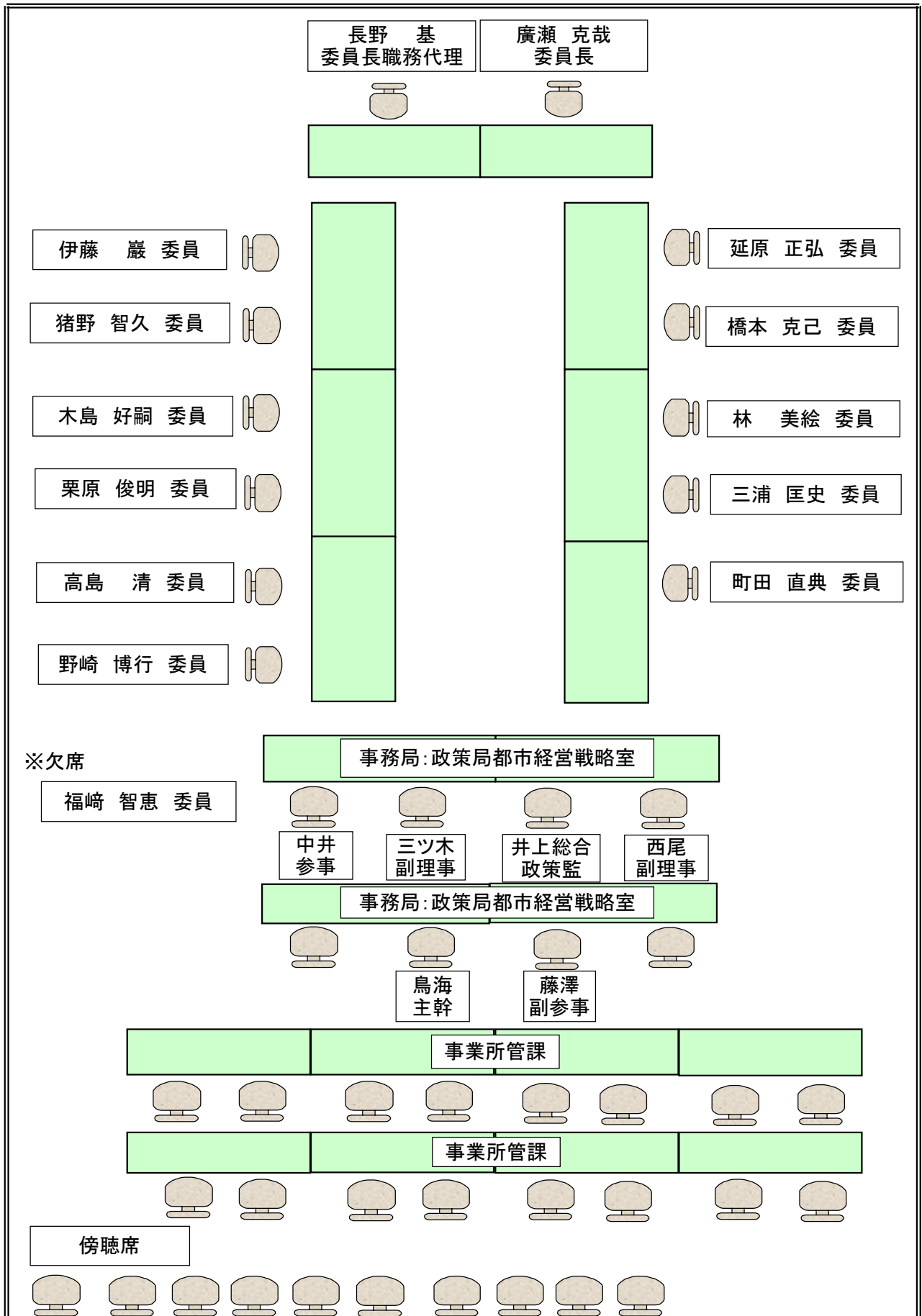
4 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 座席表
- ・ 所管課職員出席者一覧
- ・ 委員評価取りまとめシート
 - ヒアリング実施5事業 (資料1-1)
 - 取りまとめ一覧 (資料1-2)
- ・ 開催日程別評価事業一覧 (資料2)

平成23年度 第8回 しあわせ倍増プラン2009 市民評価委員会 座席表

日時:平成23年9月14日(水)午後7時00分～
会場:浦和コミュニティセンター 第15集会室



平成23年度 第8回 しあわせ倍増プラン2009市民評価委員会

所管課職員出席者一覧

宣言・分野	No.	項 目	所 管 課	出席者			
				職 名	氏 名		
子ども	2 1	家庭・地域・学校が連携して取り組む「土曜日寺子屋」を実施します。(4年以内)	教育総務課	課 長	鳴澤 英雄		
	2 2	子どもの創造力を高める「子ども博物館構想」を推進します。(4年以内)	子育て企画課	課 長	松井 雅之		
			新都心整備対策室	室 長	高橋 誠		
	2 5	北九州方式を参考とした小児救急体制や、産科救急体制を整備します。(4年以内)	(この項目は出席者がいないため、この行は斜線で消されています)				
25-1			小児救急	地域医療課	課 長	海老名英治	
高齢者	3 3	空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。(4年以内)	(この項目は出席者がいないため、この行は斜線で消されています)				
			33-1	高齢者サロン	高齢福祉課	課 長	米谷 晃
健康・安全・安心	3 7	食生活や運動習慣の改善を支援し、健康寿命の延伸を目指します。～元気倍増大作戦～ (4年以内)	(この項目は出席者がいないため、この行は斜線で消されています)				
			37-2	介護予防	高齢福祉課	課 長	米谷 晃
					介護保険課	課 長	佐藤 崇之
環境・まちづくり	4 4	「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。(4年以内)	環境未来都市推進課	課 長	千枝 直人		

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会：9月14日（水）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
3 子ども	21	土曜チャレンジスクール（どちゃれ）の実施	4年以内	・24年度末までに全市立小・中・高等学校でどちゃれ実施 ・24年度末までに全市立小・中・特別支援学校にSSNを構築	①さいたま土曜チャレンジスクール実施校30校 ②スクールサポートネットワークの構築30校	①さいたま土曜チャレンジスクール実施校30校 ②スクールサポートネットワークの構築30校	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので、「b」と判断しました。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	実施目標は達成されたが常に成果が今後の課題である。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	内部評価と同様に評価。
長野委員	b	→	7	昨年度の遅れを取り戻し、工程表通りの成果を得ている。
野崎委員	b	→	7	概ね工程表の通り進捗されたと判断いたしました。関連する関係所管との連携を行い情報共有をお願いしたい。
延原委員	b	→	7	特になし
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のおり、進捗したと判断しました。継続して事業実施の為の取り組みが必要に感じます。マッチング制度等とのシナジー効果も考えることが出来るのでは？
林委員	b	→	7	ほぼ工程表の通りと判断。
廣瀬委員	b	→	7	取り組みの量的な面では工程表通り。他のプログラムとの連携の面では成果があがっているか？
福崎委員	b	→	7	継続して整備に当たってほしい。
町田委員	b	→	7	放課後チャレンジスクールの具体的実施に加え、土曜チャレンジスクールとの一体的運営など予定どおりの進捗と判断します。
三浦委員	b	→	7	内部評価と同様の判断。土曜チャレンジスクールと放課後チャレンジスクールを一体化して、課外チャレンジスクール等として制度も一本化できないか。
委員会評価 (平均値)	b		7.0	

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会：9月14日（水）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加 点 減 点	点 数	評価理由
3 子ども	22	子ども博物館構想	4 年 以 内	・22年度末までに「子ども博物館構想」等として取りまとめ	・子ども博物館構想の推進及びとりまとめ	・★新都心8-1A街区との調整をはかり、子ども博物館基本構想を検討。	c	→	4	・基本構想としてとりまとめることができなかつたので、進捗度を「c」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進 捗 度	加 点 減 点	点 数	
伊藤委員	c	→	4	基本構想が変更になった状況と認識している。評価できない。
猪野委員	c	→	4	目標から大きく遅れている。医療機関の設置となったが、ということなのか。事業自体を廃止とするのか。
木島委員	d	↘	0	評価理由：本来完成してはならないものが未達ということに加え、進捗がみられない（構想の推進というのは、会議を一度開くことなのか）
栗原委員	c	→	4	今後の財政状況を考え、慎重な判断をお願いします。
高島委員	c	→	4	基本構想としてのとりまとめはいつごろにできるのか？
長野委員	c	→	4	基本構想の策定は実現しなかった。
野崎委員	c	↘	3	工程表通り実行されていないと判断しました。早期の構想案の策定を期待します。
延原委員	c	↗	5	中止も考えるべき。
橋本委員	c	→	4	基本構想のとりまとめが出来ず、大幅な遅れがあると判断。
林委員	c	↘	3	—
廣瀬委員	c	↗	5	土地利用との関係をどう評価に盛り込むかは悩ましい。
福崎委員	b	↘	6	会議録の抜粋を見る限り、「子ども博物館」の検討が、特定の建物に置く施設について考えているのか、子どもが過ごせる特定の場所・環境のあり様を考えているのか、分からない。 今後の事業：「構想の取りまとめ」について、意見が膠着しているポイントを挙げて、その解消を解決を目標としてはどうか。強引な結論は避けて欲しい。
町田委員	c	→	4	構想の推進ができなかった点で、評価します。
三浦委員	c	→	4	工程の遅れの原因分析と今後の対応方針の説明が必要。
委員会評価 (平均値)	c		4.2	

※「網かけ部分」について … 委員会の審議の結果、各委員が変更した達成度・点数を反映している。

※平均値の集計について … 達成度の点数が単独で2点以上の開きがある場合は、離れ値として扱い、平均値の算出から除外している。

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会：9月14日（水）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
3 子ども	25-1	北九州方式を参考とした小児救急体制や産科救急体制を整備（小児救急）	4年以内	・小児救急医療体制の確立 ・24年度末までに初期救急患者の割合62%→35%以下	①ガイドブックの作成・配布 ②初期救急患者割合35%以下	①「さいたま市小児救急ガイドブック」を8万部作成・配布 ②初期救急患者割合14%	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	救急患者割合が減少した事ガイドブックと関係あるとは思えない。
猪野委員	b	→	7	工程表通り進捗。
木島委員	b	↗	8	評価理由：初期救急患者割合を目標の半分以下に抑えたことを評価
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	↗	8	初期救急患者割合が減った点を加点した。
長野委員	b	→	7	工程表通りの進捗である。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断いたしました。
延原委員	b	↗	8	* 初期救急14%まで下げたことは効果大です。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のおり、進捗したと判断しました。この事業の取り組みとの因果関係についての検証はあるのか？
林委員	b	→	7	—
廣瀬委員	b	→	7	—
福崎委員	b	↘	6	少子化対策にもなると思われる小児救急は、本気で充実させて欲しい。 目標数値が甘く、目標設定項目も少ないのではないか。
町田委員	b	→	7	子どもを安心して育てられる「さいたま市」を目指して一層の配慮を願う。予定どおりと判断。
三浦委員	b	→	7	工程通り進捗している。
委員会評価 (平均値)	b		7.1	

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会:9月14日(水)開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度 主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
4 高齢者	33-1	空き教室や空き店舗を活用し高齢者サロン・介護者サロンの設置（高齢者サロン）	4年以内	・24年度末までに市内47地区社会福祉協議会で高齢者サロンを実施 ・24年度末までに老人福祉センター2か所増	①累計39地区社協でのサロン開催 ②浦和区・南区内の老人福祉センター開設準備	①40地区でのサロン実施 ②浦和区・南区内の老人福祉センター開設準備	b	→	7	・平成22年度の数値目標、取組内容、工程表等のとおり進捗したので「b」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	b	→	7	予定通りの進行の為
猪野委員	b	→	7	工程表通り。
木島委員	b	→	7	評価理由：目標通り
栗原委員	b	→	7	—
高島委員	b	→	7	工程表通り進んでいると判断した。
長野委員	b	↘	6	地区社協以外のサロン実施を含めて計測していることは事業主体の変更であり、計画内容そのものの変更と考えら得る。老人福祉センターの開設準備は計画通りと言える。
野崎委員	b	→	7	工程表の通り進捗されたと判断いたしました。
延原委員	b	→	7	特になし。
橋本委員	b	→	7	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。
林委員	b	→	7	H22は工程表の通り。 先日の現地視察で、H23年5月に開設した仲本荘を見学したが、非常に綺麗で設備が充実しているように見える反面、職員の方からは、高齢者施設によくあるお風呂がないこと、「老人」の名称に抵抗があり利用者が集まらないこと、2Fの児童センターとの利用数の格差、入り口が高齢者と児童一緒なので利用者同士が戸惑うこと等の問題を聞いた。 開設した後の問題解決も重要。
廣瀬委員	b	→	7	高齢者サロン実施地区が工程表の目標通り増加し浦和区、南区の老人福祉センターの開設準備が進められた。
福崎委員	b	↗	8	浦和区のセンターへ視察に行きました。スタッフの方の姿勢が熱心かつ真剣で、今後の発展に期待が持てました。
町田委員	b	→	7	1地区増えているものの予定どおりの進捗と判断。公共施設のストックマネジメントとの調整を図り、公共施設の有効活用を視野にいれながら、人々のコミュニケーション活動のきっかけとしていくためにも大切な事業と考えます。
三浦委員	b	↗	8	工程通り進捗と評価する。 昨年度の市民評価委員会でのコメント（地区社協が実施するサロンのみではなく、自治会やNP0等が運営するサロンのデータも把握すべき）を受け、情報共有が進んでいることを評価して加点します。
委員会評価 (平均値)	b		7.1	

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会：9月14日（水）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
4 健康・安全・安心	37-2	食生活や運動習慣の改善を支援し、健康寿命の延伸 ～元気倍増大作戦～（介護予防）	4年以内	・24年までに健康寿命を男16.4→17.0年、女19.2→19.5年まで延伸 ・24年度末までに介護予防特定高齢者施策事業の参加者を1,800人に増 ・24年度末までに介護予防一般高齢者施策事業の参加者を15,000人に増 ・24年度末までに介護予防・生活支援事業（介護予防水中運動教室事業）の参加者を210人に増	①介護予防特定高齢者施策事業は1,400人。 ②介護予防一般高齢者施策事業は13,000人。 ③介護予防水中運動教室事業は170人。	①★介護予防特定高齢者施策事業は1,130人。 ②介護予防一般高齢者施策事業は21,028人。 ③★介護予防水中運動教室事業は145人	c	→	4	・平成22年度の介護予防特定高齢者施策事業参加者が1,130人、同水中運動教室事業参加者が145人で、ともに目標値を下回ったので「c」と判断。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	c	→	4	施策事業の参加者については下回っているが内容等が理解されていないと感じる。
猪野委員	c	→	4	介護予防特定高齢者施策事業及び介護予防水中運動教室事業に遅れがある。「c4」とした。
木島委員	c	↗	5	評価理由：二つの未達があるため進捗はcとするが、介護予防一般高齢者施策事業参加者の達成率162%（実績21千人/目標13千人）を評価し加点
栗原委員	c	→	4	—
高島委員	c	→	4	内部評価と同様の評価とした。参加者を増やすためには市報等での周知等と言っているが、「等」の具体的な方法を早急に考えてほしい。
長野委員	c	→	4	最もリスクが高い「元気アップシニア」層の参加が目標水準に届かなかった。「生活機能の低下が見られる方」が市内全体でどの程度存在するのかの基礎数値（予測値）が把握できないので、評価が難しい。
野崎委員	c	↗	5	参加者が大きく目標を上回った事業もありますが、目標を下回っている事業に関しては、参加促進等も勿論のこと内容に関してもニーズを満たしているのか見当が必要だと感じます。
延原委員	c	→	4	特になし。
橋本委員	c	→	4	重視すべき特定高齢者での達成が無かった点は残念。他事業とのシナジー効果を期待します。
林委員	b	↘	6	要介護の恐れがある①③の本来参加すべき人数がもっと多いはずなら、cの「5」に変更。（そうでなければ、②が非常に増えているので、喜ばしいように思った）
廣瀬委員	c	→	4	目標に達しないだけでなく、前年度よりも下がって理由の検証が必要
福崎委員	c	↗	5	参加者数がそれほど低い数字ではないと思います。リピーターを増やし、新しい方を誘ってもらえるように、内容の充実に努めてほしいと思います。
町田委員	c	→	4	具体的に設定した目標数値のうち過半が下回ったことで評価。ストレッチなど運動の習慣をもってもらうことは必要です。
三浦委員	c	↘	3	参加者数が目標を下回ったため0-3。特に、水中運動教室は参加者が伸びないことと同時に、開催場所（施設）立地に偏りがあり、居住地（区）によって不公平感が否めない。また、介護予防で一番注力すべき特定高齢者施策事業の参加者減少も深刻に受け止めるべき。
委員会評価 (平均値)	c		4.3	

【委員評価取りまとめシート】追加ヒアリング事業（第8回委員会：9月14日（水）開催）

宣言・分野	事業番号	倍増プラン事業名	期限	期限内の数値目標等	H22年度主な目標等	H22年度主な実績 ☆進捗度aの要素 ★進捗度cの要素 △加点要素 ▼減点要素	H22年度達成度 (内部評価)			
							進捗度	加点減点	点数	評価理由
6 環境・まちづくり	44	「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。	4年以内	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度末までに市域における次世代自動車台数6,000台を12,000台へ ・24年度末までに市公用車への次世代自動車導入率を76.1%にし、25年度末までに100%にすることを旨とする ・自動車からのCO2を年間6万トン削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①E-KIZUNAサミット・フォーラムの開催 ②公用車への次世代自動車導入105台（導入率33.8%） ③公共施設（10箇所）へ急速充電器を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ①△E-KIZUNAサミット・フォーラムの開催 ②★公用車への次世代自動車導入64台（導入率29.3%） ③公共施設（7区役所）へ急速充電器を設置 	c	↑	5	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車への次世代自動車率先導入において、数値目標、取組内容、工程表等に遅れがあるため「c」と判断。ただし、E-KIZUNAサミット・フォーラムの実現に向けた取組を評価し加点。

委員名	達成度			「達成度」の評価理由等
	進捗度	加点減点	点数	
伊藤委員	c	↑	5	推進すべきである。
猪野委員	c	→	4	目標項目3つのうち、2項目に遅れがある。
木島委員	c	↓	3	評価理由：目標三つに対し二つ未達、かつ達成率も低く大幅遅延（公用車次世代自動車達成率63%、急速充電器達成率70%）ただし、サミットの拡大・前倒し、および国への提言を評価し加点
栗原委員	c	↑	5	—
高島委員	c	→	4	公用車への導入が目標より大きく下回っているためこの評価とした。
長野委員	c	→	4	公用車のEV導入は目標に届かず。また、工程表にあるEV優遇策（「公共・商業施設における駐車料金の優遇等」）の実施については、実績が把握できなかった。
野崎委員	c	↑	5	導入台数が目標を、大きく下回ったと判断いたしました。車両タイプを用途を勘案して早期の切り替えをお願いしたい。
延原委員	c	→	4	E-KIZUNAフォーラムは加点する程のものではない。
橋本委員	c	→	4	事業計画（工程表）のとおり、進捗したと判断しました。エネルギー政策に対する市の考え方について説明が必要なのではないか？
林委員	c	→	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市域における次世代自動車の台数の、単年度目標と実績がほしい。 ・工程表に、「次世代自動車の普及促進」の行を追加し、そこにサミット開催や国への2回提言を記載すべき。 ・「充電セーフティネットの構築」の目標値と実績が、工程表に示されていないのはどういうわけか？
廣瀬委員	b	↓	6	概ね工程表に沿っているが、導入実績が目標値に届いていない点を減点した。
福崎委員	c	→	4	フォーラム開催の効果が今後現れて初めて評価につながるように思います。
町田委員	c	↑	5	公用車への導入率が若干ではあるが下回ったことでの評価。公用車約800台をすべてハイブリッドとするための必要経費が課題。
三浦委員	b	↓	6	公用車への導入が遅れている。ただし、公用車の買い換え、買い増しのタイミング（台数）に合理的に適合する目標値なのか？
委員会評価 (平均値)	c		4.5	

※「網かけ部分」について … 委員会の審議の結果、各委員が変更した達成度・点数を反映している。
 ※平均値の集計について … 達成度の点数が単独で2点以上の開きがある場合は、離れ値として扱い、平均値の算出から除外している。

＜ヒアリング実施事業(6事業)＞

宣言・分野	No.	倍増プラン事業名	委員名 (敬称略)	伊藤	猪野	木島	栗原	高島	長野	野崎	延原	橋本	林	廣瀬	福岡	町田	三浦	達成度														
																		進捗度				点数										平均値
																		a	b	c	d	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
3	子ども	21 家庭・地域・学校が連携して取り組む「土曜日寺子屋」を実施します。(4年以内)	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	7.0												
			点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7														
	22 子どもの創造力を高める「子ども博物館構想」を推進します。(4年以内)	達成度	進捗度	c	c	d	c	c	c	c	c	c	c	c	c	b	c	c	c	4.2												
点数	4	4	0	4	4	4	4	3	5	4	3	5	6	4	4																	
		北九州方式を参考とした小児救急体制や、産科救急体制を整備します。(4年以内)																														
	25-1	小児救急	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	7.1												
点数	7	7	8	7	8	7	7	8	7	7	7	7	6	7	7																	
4	高齢者	空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。(4年以内)																														
		33-1	高齢者サロン	達成度	進捗度	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	7.1												
点数	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7	7	7	8	7	8																	
5	健康・安全・安心	食生活や運動習慣の改善を支援し、健康寿命の延伸を目指します。～元気倍増大作戦～(4年以内)																														
		37-2	介護予防	達成度	進捗度	c	c	c	c	c	c	c	c	b	c	c	c	c	c	4.3												
点数	4	4	5	4	4	4	5	4	4	6	4	5	4	3																		
6	環境・まちづくり	44 「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。(4年以内)	達成度	進捗度	c	c	c	c	c	c	c	c	c	b	c	c	b	c	4.5													
			点数	5	4	3	5	4	4	5	4	4	4	6	4	5	6															

※「赤網かけ部分」について … 委員会の審議の結果、各委員が変更した達成度・点数を反映している。
 ※平均値の集計について … 達成度の点数が単独で2点以上の開きがある場合は、離れ値として扱い、平均値の算出から除外している。

平成23年度 市民評価委員会開催日程(予定)

	期日・時間	内容及びヒアリング対象事業(案)		
第1回 (終了)	6月6日(月) 19:00~21:00	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付式 ・評価の実施手法 ・今後の進め方 		
第2回 (終了)	6月24日(金) 19:00~21:00	項目数 (事業数)	宣言・ 分野別	個別事業名 (事業番号 事業数)
		3項目 (10事業)	条例宣言 行財政改革	①ノーマライゼーション条例 (No.Ⅱ-3 1事業) ②行財政改革推進チームの設置 (No.1-1~1-5 5事業) ③すべての窓口業務を区役所で (No.2-1~2-4 4事業)
第3回 (終了)	7月8日(金) 19:00~21:00	4項目 (7事業)	行財政改革 子ども	④マッチングファンド制度創設 (No.15 1事業) ⑤児童虐待ゼロを目指し、職員を増員 (No.20-1~20-2 2事業) ⑥子ども博物館構想の推進 (No.22 1事業) ⑦待機児童ゼロプロジェクト (No.24-1~24-3 3事業)
第4回 (終了)	7月22日(金) 19:00~21:00	5項目 (7事業)	高齢者 健康・ 安心・安全	⑧介護する人への支援体制を充実 (No.31 1事業) ⑨高齢者サロン、介護サロン (No.33-1~33-2 2事業) ⑩シルバー人材センター (No.34 1事業) ⑪シニアユニバーシティの充実 (No.35 1事業) ⑫健康寿命の延伸~元氣倍増大作戦~ (No.37-1~37-2 2事業)
第5回 (終了)	8月5日(金) 19:00~21:00	5項目 (10事業)	健康・安 心・安全 環境・ まちづくり	⑬危機管理体制の構築 (No.39-1~39-6 6事業) ⑭民間住宅の耐震化補助事業拡充 (No.40 1事業) ⑮市内照明のLED化 (No.42 1事業) ⑯太陽光発電設備の設置推進 (No.43 1事業) ⑰新規建設事業費1%を文化・芸術のまちづくりに配分 (No.47 1事業)
第6回 (終了)	8月19日(金) 19:00~21:00	5項目 (6事業)	環境・ まちづくり 経済・雇用	⑱市民が憩える場所づくりプロジェクト事業 (No.49-1 1事業) ⑲「高度地区」による高さ制限を導入 (No.50 1事業) ⑳生活密着型インフラ整備を推進 (No.51-2 1事業) ㉑都市計画道路を抜本的に見直し (No.52 1事業) ㉒自立生活支援プロジェクト事業 (No.53-1~53-2 2事業)
第7回 (終了)	8月30日(火) 19:00~21:00	4項目 (8事業)	経済・雇用 地域間対立	㉓雇用倍増プロジェクト (No.54-1~54-3, 54-8, 54-11 5事業) ㉔観光客の誘致 (No.55 1事業) ㉕大宮駅東口開発 (No.60 1事業) ㉖地下鉄7号線 (No.61 1事業)
《合計》		26項目 (48事業)		
第8回	9月14日(水) 19:00~21:00	5項目 (5事業)	追加ヒア リング	①土曜チャレンジスクール (No.21 1事業) ②子ども博物館構想の推進 (No.22 1事業) ③高齢者サロン (No.33-1 1事業) ④介護予防 (No.37-2 1事業) ⑤E-KIZUNA Project (No.44 1事業) ※小児救急 (No.25-1 1事業)
第9回	9月22日(木) 19:00~21:00	取りまとめ		
第10回	10月6日(木) 19:00~21:00	取りまとめ		
	10月13日(木) 19:00~21:00	予備日		
	10月15日(土) 14:30~16:30	◎「市民評価報告会」		